

養豚の力で
会津をひまわりの
ように明るくしたい。



はせがわ ゆうな
長谷川 優奈 さん(20代)

<喜多方市>

養豚農家
(起業)

2016年 Iターン

喜多方市の養豚家にIターン

『日本三大ラーメンのひとつ「喜多方ラーメン」が有名な喜多方市。その喜多方市、実は農業も盛んな地域です。特に高原地を活かしたアスパラガスや酪農などは、会津地域の中でも主要産地となっています。飯豊山の伏流水、ブナの森を水源とする日中ダムなど、水の良さも喜多方市の特徴と言えます。

東京都生まれの長谷川さんはこの喜多方市で養豚農家として働いています。農家育ちではない長谷川さんが養豚を始めたきっかけ、喜多方市へ移住しようと思ったきっかけ、お仕事のこと、喜多方市に住んでみての感想など、販売店を兼ねる事務所にお伺いし取材しました。』

取材日 2022年12月7日

移住のきっかけと養豚のこと

<移住のきっかけ>

東京都に生まれ、農業高校に入る時に畜産科を選んだのが養豚に関わった最初です。母が「手に職を付けなさい」と言っていて、兄が農業高校に進んだのを見ていたので農業に抵抗はありませんでした。むしろ私の兄弟すべてが農業高校に行ったくらいです。

喜多方市は祖父が山都町にいたので、小さい頃からなじみがありました。喜多方市に移住しようと思ったのは鹿児島県にいる時、震災後の福島県が大変だというTVを見たことがきっかけです。私でも福島のために何か出来るかもしれないと思い、鹿児島県にいる時から喜多方市で養豚が出来ないかと模索し始めました。移住体験ツアーに参加したこともありましたが、まだ鹿児島県にいたので喜多方市役所の移住担当者さんとメールで連絡を取り合いました。空き家の見学は家族に行ってもらうなど、手伝ってもらいながら進めました。2016年5月に前職を退社し、東京の自宅に戻ってからは喜多方市に通って、8月に借家の契約ができました。

<養豚のこと>

高校では最初、牛に関わりたと思っていたのですが、豚舎に誘われて見てみたらすごく可愛くて、...豚にしました(笑) 農業大学校では黒豚も白豚も学びました。卒業後は鹿児島県の黒豚を育てている小規模の農家さん



に勤務しました。将来自分でも養豚業をやりたいと思っていたので、目標に近いところで働きたかったのです。

喜多方市では最初、養豚農家さんに研修として勤務させてもらいました。今はその豚舎を間借りして36頭ほど飼育しています。喜多方市は三ノ倉のひまわり畑が人気なので、ちなんでひまわりの種を食べさせた「会津ひまわり豚」が私の豚です。技術力をもっとつけて、良い豚を育てていきたいです。

喜多方市での暮らし、魅力

<喜多方市での暮らし>

祖父の家が近くなって、会う機会が増えたことで祖父は「優奈のおかげで元気になったよ」と言ってくれます。それがとても嬉しいです。

今の家は小さな集落の中の一軒家をお借りしているので、村仕事もあります。慣れないこともありますが、集落の約束事は守るようにしています。東京より支えあって生きているというのがすごく伝わりますので、集落の付き合いは大事だと思っています。特に挨拶や冬の雪片付けは村の方に言われる前にしようと心掛けています。最初の冬は思ったより雪が多くて

喜多方市すごいな、と思いました(笑) 使ったことがないスノーダンプで雪を片して道を作ったりしましたが、村の人が手伝ってくれることもあり、ひと冬で雪には慣れました。余談ですが、ツララが大きくてビックリしました。

<喜多方市の魅力>

田んぼの風景がすごく好きです。これは東京にも鹿児島にもない景色で、すごい魅力だと思います。家のすぐ近くでも、仕事場に行く運転の時でも、田んぼが広がっているといいなあ、と思います。

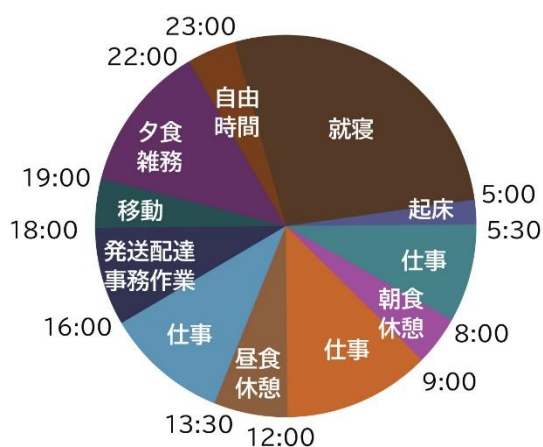
<将来のこと>

今は豚舎を間借りしていますが、来年から養豚を辞めた方の豚舎を使わせていただける予定です。年間36頭から少し増やしていこうと思います。2020年から父が販売を手伝ってくれていて、キッチンカーでうちの豚のメンチカツを売っています。今年は新作で豚まんの販売も始めました。あと毎週金・土・日の予約販売になりますが、「会津ひまわり豚」の精肉も店頭販売しています。

実は、父だけでなく家族が喜多方市に移住してきました。今はそれぞれの得意分野を活かして私の養豚を手伝ってくれています。弟は農業高校の食品科卒なので、食品加工が得意です。会津ひまわり豚が地域の人と関わって育ててもらい、結果、会津のためになっていければよいと思います。



ある一日のスケジュール



長谷川さんの行動歴

東京都生まれ ⇒ 鹿児島県(農業大学校・就職) ⇒ 東京都(実家) ⇒ 喜多方市へ

移住を検討している方にアドバイス

村に住む場合、村の付き合いをすることが大事です。みんな絆を大事に生活しています。



現住人口 43,706人 男性/21,017人 女性/22,689人

面積 554.63平方キロメートル

標高 海拔 210.8m(喜多方市役所)

最寄駅 JR磐越西線「喜多方駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津若松IC」

保・幼・こ 認可保育所 10か所 幼稚園 2園 認定こども園 11園

小学校数 公立 17校

中学校数 公立 7校

高校数 公立 3校

病院数 病院 6か所 診療所 17か所 歯科 22か所

市の特徴 会津盆地の一番北側に位置し、北西には飯豊連峰、東には名峰磐梯山の頂を望む雄国山麓が裾野を広げ、南は阿賀川が流れる豊かな自然に恵まれている地域である。日本三大ラーメンの喜多方ラーメンが有名で、現在でも100店舗近くがある。山間部の山都地区は蕎麦が名産で、そば祭りには県内外から多くの人を訪れる。

移住サポート窓口 喜多方市役所(地域振興課)
喜多方市ホームページ
<https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/iju-info/>
電話:0241-24-5306
メール:chiiki@city.kitakata.fukushima.jp

